

学校の教育目標

ひろい心をもち 豊かに表現できる子

【願う学校像】

「楽しい学校」

今日が満足で、明日が楽しみ = 笑顔・自信・やる気

温かく、明るく、元気で、安心・安全な学校だから、(児童が)行きたい、(教職員が)働きたい、(保護者が)通わせたいと思える学校

【昨年度までの成果○と課題●】

- 課題化から振り返りまで、一定の学び方が身に付き、主体的に臨む姿が増えてきた。
- 様々な交流の時間を意図的に設けることで、自分の考えをもって主体的に取り組む姿が増えてきた。
- 相手意識をもって話したり、自分と比べながら相手の意見を聞いたりする姿が増えてきた。
- 交流は一見できているが、児童によって学びの深さに差がある。
- 交流に時間がかかり、基本的な知識技能の習得がまだ不十分である。

【めざす子どもの姿】

- これまでの学習をもとに、見通しをもって粘り強く課題解決に取り組む子。
- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、どの問題でも自分の考えをもつことができる子
- 自分の考えを多様な表現方法で説明し、仲間と協働して、よりよい考え方を追究することができる子。
- 自己の成長を実感したり、新たな問いを見出して次時への意欲を高めたりする子

【研究主題】

主体的に学び、仲間と高め合える子の育成

～深い学びを通して、できた・わかったという楽しさを実感できる授業づくり～

【研究仮説】

児童の実態に合わせ、単位時間ごとに「思考力・判断力・表現力等」を重点とした時間と、「知識及び技能」を重点とした時間を明確にした単元指導計画をたて、それぞれのねらいが達成できる学習過程・活動を工夫し、多様な考えや表現を吟味・検討したり、反復練習をじっくり行って知識技能を高めたりすれば、深い学びにつながり、主体的に学び、仲間と高め合える子が育成できるであろう。

【研究内容】

(1)単元指導計画の工夫	(2)単位時間の学習過程・活動の工夫	(3)主体的に学ぶための指導・援助の工夫
<p>■児童の実態に合わせ、単位時間ごとに「思考力・判断力・表現力等」を重点とした時間と、「知識及び技能」を重点とした時間を明確にした単元指導計画をたてる</p>	<p>■単位時間ごとのねらいが達成できる学習過程・活動を工夫する</p> <p><「思考力・判断力・表現力等」の時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題提示・課題設定 ・個人追究・全体追究（対話的活動） ・まとめ ・練習問題 <p><「知識及び技能」の時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題提示・課題設定 ・解き方の確認・用語確認 ・例題 ・練習問題・まとめ ・（発展問題） 	<p>■多様な考えや表現を吟味・検討したり、反復練習をじっくり行って知識技能を高めたりする</p> <p>○「思考力・判断力・表現力等」を習得するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話型や算数用語等のキーワード提示 ・交流の仕方の使い分け（ペア・スクランブル・全体交流など） ・交流のすすめ方（視点を与えて自分の考えと比べさせる） <p>○「知識及び技能」を習得するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒントカード ・web ラーニング

【基盤となる日常実践】

学習規律づくり 学習環境づくり 温かな学級集団づくり 基礎・基本の定着 家庭学習の充実

■めざす子どもの姿について（算数科の学習を通して、次の4つの姿をめざす）

①これまでの学習をもとに、見通しをもって粘り強く課題解決に取り組む子

- ・既習との違いを進んで見つけようとする姿
- ・どの問題でも解決することを楽しんでいる姿

②基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、どの問題でも自分の考えをもつことができる子

- ・基礎的な計算問題を正確に解く姿
- ・これまでに習った算数用語を使って自分の考えをノートに書く姿
- ・図や表などを用いて正解を導き出す力

③自分の考えを多様な表現方法で説明し、仲間と協働して、よりよい考え方を追究することができる子。

- ・相手意識をもち、相手に分かるように伝えようとする姿
- ・筋道立て、根拠を明らかにして説明する姿
- ・これまでに習った算数用語を使って伝える姿
- ・図や表など視覚的に表し、それを指し示しながら伝える姿
- ・交流場面で自分の考えを発言したり、分からないことを尋ねたりする姿
- ・自分の考えとどこが違うのか聞き比べる姿
- ・多様な解き方や考え方があることに気付く姿
- ・課題を解決する上で、方法や考えが使える根拠や理由についてより理解を深める姿

④自己の成長を実感したり、新たな問いを見出して次時への意欲を高めたりする子

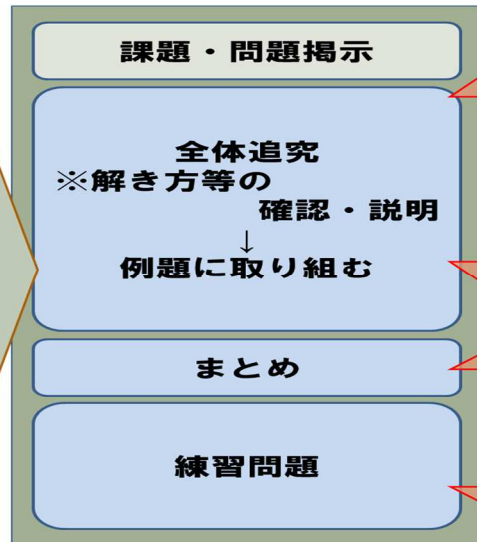
- ・本時学んだことが理解でき、新たな問題に向かおうとする姿
- ・次時の学習について、新しいことを学ぶのか、本時の考えが使えるのかなど興味を抱く姿

■単位時間ごとに役割を分けた学習過程

<思考力・判断力・表現力等の時間>



<知識及び技能の時間>



区別化

コンパクトに

たっぷり

■学年部でめざす姿（思考力・判断力・表現力等の時間）

低学年部	中学年部	高学年部
①既習との違いを進んで見つけようとする姿	①既習との違いを進んで見つけようとする姿	①既習との違いを進んで見つけようとする姿
②自分の考えをもち、具体物や図を使ってノートに書いて説明する姿	②自分の考えを筋道立て、根拠を明らかにして説明する姿	②多様な表現方法を用いて自分の考えを説明する姿
③交流場面で自分の考えを発言したり、分からないことを尋ねたりする姿	③仲間の考えと自分の考えを比べて聴き取る姿	③自分と仲間の意見を比較検討し、よりよい考えを追究する姿
④板書から本時学んだことが言える姿	④板書やノートから本時学んだことが言えたり、書いたりする姿	④本時学んだ考え方について異なる条件でも成り立つか検証する姿